

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 2 月 12 日 (2009.2.12)

【公開番号】特開 2007-169456 (P2007-169456A)

【公開日】平成 19 年 7 月 5 日 (2007.7.5)

【年通号数】公開・登録公報 2007-025

【出願番号】特願 2005-368978 (P2005-368978)

【国際特許分類】

C 0 8 J 3/03 (2006.01)

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

B 0 1 J 13/00 (2006.01)

C 0 8 J 3/12 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 3/03 C F D

G 0 3 G 9/08 3 3 1

G 0 3 G 9/08 3 8 1

B 0 1 J 13/00 A

C 0 8 J 3/12

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 12 月 18 日 (2008.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

重縮合性単量体を重縮合しポリエステルを得る工程、

カルボキシル基及び / 又はその等価基を 1 つ以上有する乳化性希釈剤及び前記ポリエステルを少なくとも含む混合物を得る工程、並びに、

前記混合物を水系媒体中に乳化分散し樹脂粒子分散液を得る工程を含む樹脂粒子分散液の製造方法であって、

乳化分散温度における前記ポリエステルの粘度が 2 , 0 0 0 ~ 2 0 , 0 0 0 P a ・ s であり、

乳化分散温度における前記乳化性希釈剤の粘度が 0 . 1 ~ 1 0 0 P a ・ s であることを特徴とする

樹脂粒子分散液の製造方法。

【請求項 2】

乳化分散温度における前記ポリエステルの粘度が 5 , 0 0 0 ~ 2 0 , 0 0 0 P a ・ s である請求項 1 に記載の樹脂粒子分散液の製造方法。

【請求項 3】

乳化分散温度における前記ポリエステルの粘度が 8 , 0 0 0 ~ 1 8 , 0 0 0 P a ・ s である請求項 1 又は 2 に記載の樹脂粒子分散液の製造方法。

【請求項 4】

乳化分散温度における前記乳化性希釈剤の粘度が 0 . 6 ~ 1 0 0 P a ・ s である請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載の樹脂粒子分散液の製造方法。

【請求項 5】

乳化分散温度における前記乳化性希釈剤の粘度が 5 0 ~ 1 0 0 P a ・ s である請求項 1

～ 4 のいずれか 1 つに記載の樹脂粒子分散液の製造方法。

【請求項 6】

少なくとも樹脂粒子分散液を含む分散液中で該樹脂粒子を凝集して凝集粒子を得る工程、及び、

該凝集粒子を加熱して融合させる工程を含む静電荷像現像トナーの製造方法であって、前記樹脂粒子分散液が、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 つに記載の製造方法により製造された樹脂粒子分散液である

静電荷像現像トナーの製造方法。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の製造方法により製造された静電荷像現像トナー。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の静電荷像現像トナーとキャリアとを含む静電荷像現像剤。

【請求項 9】

潜像保持体表面に静電潜像を形成する潜像形成工程、

前記潜像保持体表面に形成された静電潜像をトナーを含む現像剤により現像してトナー像を形成する現像工程、

前記潜像保持体表面に形成されたトナー像を被転写体表面に転写する転写工程、及び、前記被転写体表面に転写されたトナー像を熱定着する定着工程を含む画像形成方法であって、

前記トナーとして請求項 7 に記載の静電荷像現像トナー、又は、前記現像剤として請求項 8 に記載の静電荷像現像剤を用いる

画像形成方法。